

2024年度 活動報告

ari  *l*



一般社団法人ari代表理事の小川泰佑です。

いつも温かいお言葉やご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

2024年度は、病気や障がいをもつ子どもの兄弟姉妹（きょうだい）への対面支援を本格的に始めることができた年度となりました。利用してくれた子ども達から「お兄さんお姉さんと遊べて楽しかった！」という言葉聞いた時には、何にも代えがたい嬉しさがありました。また、法人運営の面においても、初めてご寄付をいただくことができ、志ある仲間と出会い、小さいながらも最初の一步を踏み出せた感覚がありました。

2024年度までの活動を基に、2025年度も私たちは未来へ挑戦し続けます。

「仙台」という街に「きょうだい支援」があたりまえに存在する未来を目指します。また、一般社団法人ariとしても継続的に子供たちに笑顔を届けられるように体制を整えていきます。2025年度も「現場主義」を徹底し、たくさん子どもたちやご家族との対話を通じて、きょうだいにとって安心できる環境を皆様と共に築きたいと思います。



法人概要

- 法人名：一般社団法人ari
- 設立日：令和5年5月26日
- 所在地：仙台市青葉区国分町1丁目4-9

理事・役員一覧

- 代表：小川泰佑
- 理事：小野澤さゆり
- 理事：藤原拓真
- 監事：南理央

【法人名に込めた思い】
“あり”のままのあなた
で大丈夫、
生きていてくれて
心からの
“あり”がとう。



当法人が目指すもの



Vision(目指す姿)

社会と家族の新たな架け橋となる

Mission(果たす役割)

- 関わる全ての家族の応援団になり、新たな挑戦を後押しする
- 家族の拠り所となる関係性を築き、笑顔が溢れる時間を1秒でも増やす

Value(活動信念)

- 子どもとその家族の声や思いを聴く
- 言動とその背景までを尊重し受け止める
- 子どもと同じ目線で感じ考える
- 子どもと一緒に最高の冒険に出る



しariの歩み



2023年
6月

きょうだいとの出会い

代表の小川が、小児在宅医の訪問診療に同行した際、病気や障がいをもつ子どもの兄弟姉妹（きょうだい）と出会いました

一般社団法人 ari 設立

宮城県仙台市青葉区で登記完了。
地域医療を志す創業メンバー 4名
で法人をスタートしました

2023年
8月

コンセプト検証

小学生から高校生の児童をもつ家族を対象に、およそ1年間にわたってヒアリングを含めた仮説検証を繰り返しました

2024年
1-12月

「かかりつけお兄さん・お姉さん」サービス開始

仙台市内のきょうだいを対象に、学習支援や遊びを通じて無償で対面サポートを提供するプログラムを開始しました。

2025年
3月

仙台市の助成プログラム採択

当法人の事業「かかりつけお兄さん・お姉さん」が仙台市の地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業に採択されました。

2025年
4月

2024年度 活動総括



主な活動実績



関与家族数

8家族



ヒアリング家族数

15家族

コンセプト検証時

関与きょうだい数カバレッジ

0.05 %



*1 一般社団法人ariにて推定、仙台市内の推定対象母集団は約1,700名

*2 カバレッジ＝関与数を分子とする

活動概要



「かかりつけお兄さん・お姉さん」とは

一般社団法人ariは、「かかりつけお兄さん・お姉さん」を通して、きょうだい支援の新しい形を実現します。

サービス 説明

1. 病気や障がいを持つ子どもの兄弟姉妹（きょうだい）を対象に、学習支援や遊びを通じて無償で対面サポートを提供するプログラムです
2. きょうだいの言動に見え隠れする「願い・思い・もやもや」に真正面から向き合い、「親以外の頼れる存在」となります。
3. このサービスの利用を経て、子どもは親以外の頼れる存在を得ることができ、自らに内在する本当に気持ちに気づくことができます。さらには、「その人と関係を築く経験」自体を学びとして獲得し、今後の人間関係形成の一助となることを期待しています。

具体的 活動内容

1. アクティビティ：「きょうだいがその時やりたいこと」

例①：市民センターで勉強

例②：公園で遊び

例③：お家で手芸

例④：その他施設利用（スタッフと子どもにかかる費用は保護者が負担します）

取り組む課題

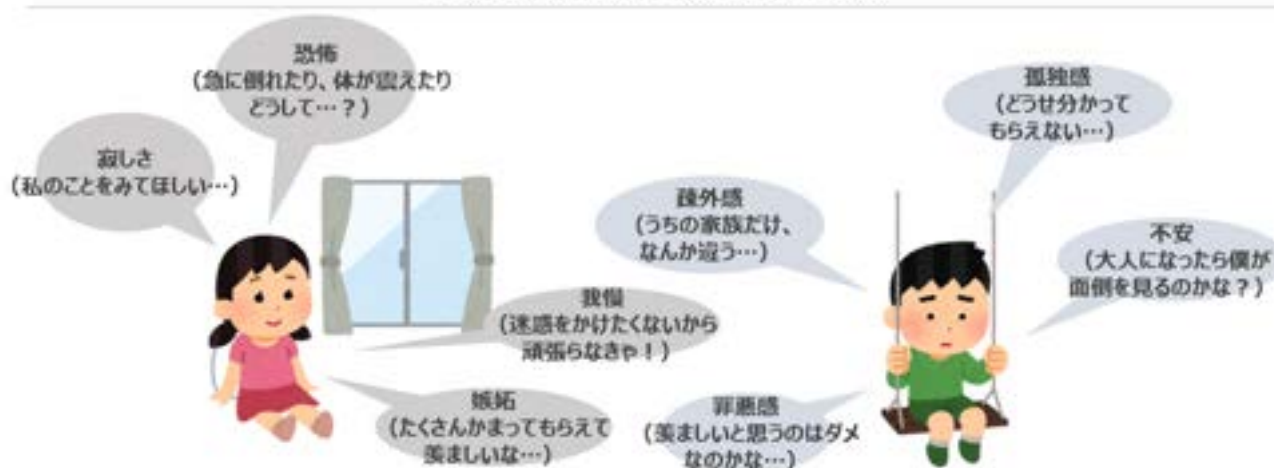
一般社団法人ariで向き合う「きょうだい」が抱える寂しさや孤独感は、顕在化しにくい。本人すら気づいていない場合も多い。

きょうだいについて

きょうだいとは、病気や障がいを抱える子どもの兄弟姉妹を指します。

きょうだいが抱えやすい気持ちを知ること、想像力の引き出しを増やしましょう。

きょうだいが抱えやすい悩みや葛藤



※すべてのきょうだい児が上記すべての感情を抱くわけではありません

Copyright © All Right Reserved.

2024年度 財務ハイライト



2024年度 財務状況 | 収入の部

総計：9万円

- 一般社団法人ariの「かかりつけお兄さん・お姉さん」では、利用者から利用料を頂いておりません。^{*1}
- 本サービスとは別で、「夏休み限定イベント」の企画を実施し、その利用料として合計9万円を頂きました。

助成：0円

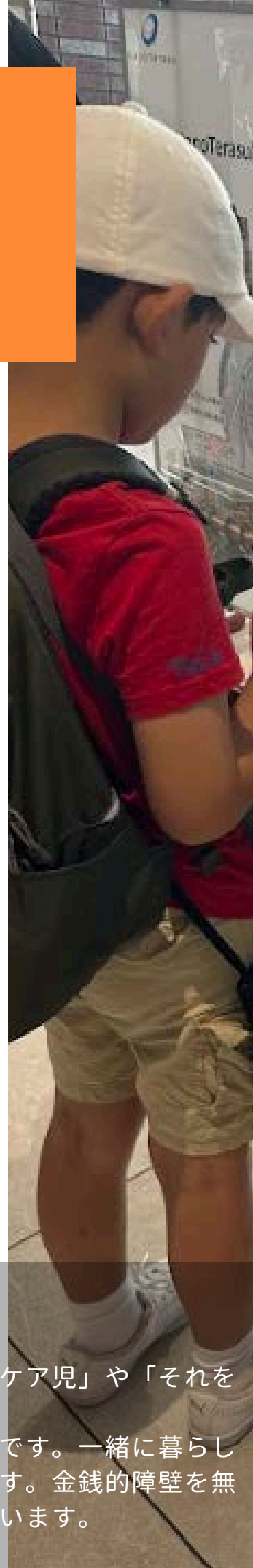
寄付：0円

- 「宮城県や仙台市といった行政からの助成金」や「協賛いただけている法人様・個人様からのご寄付」で運営しております。
- ただ、2024年度は、コンセプト検証に時間を費やしていたため、助成金やご寄付を新たに受けるには至らず、2023年度までに頂けた助成金で活動を行いました。

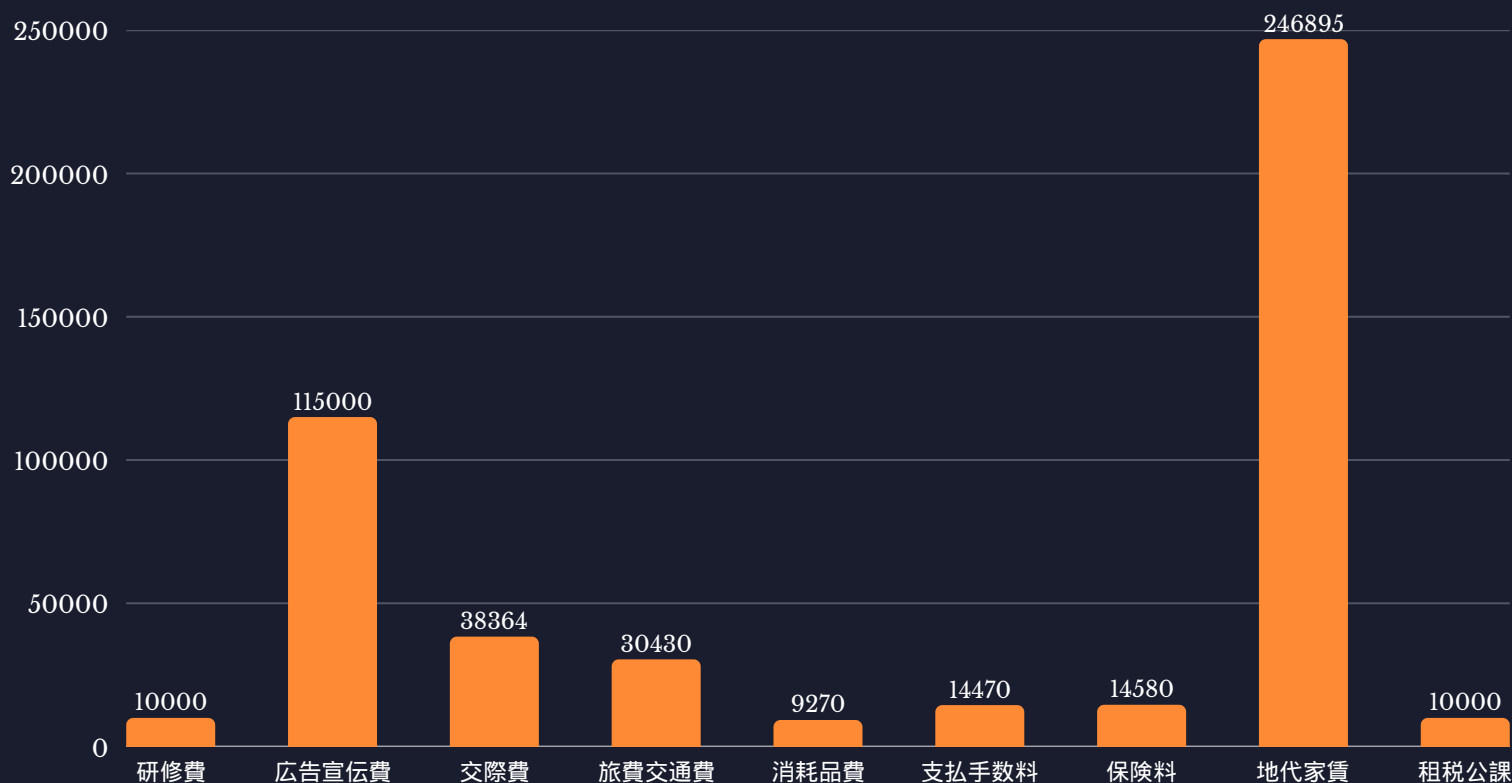
^{*1} 保険料及び事務手数料で1,000円のみ頂いております

利用料無料にこだわる理由

- 「きょうだい」が存在することは、「病気やケガと向き合う医療的ケア児」や「それを支える家族」が存在することです。
- どれだけきれいごとを並べても、実際家計は楽ではない場合が多いです。一緒に暮らしているからこそ、きょう代いは「その状況が分かってしまう」のです。金銭的障壁を無くすことで、彼らにフォーカスが当たる時間を提供したいと考えています。



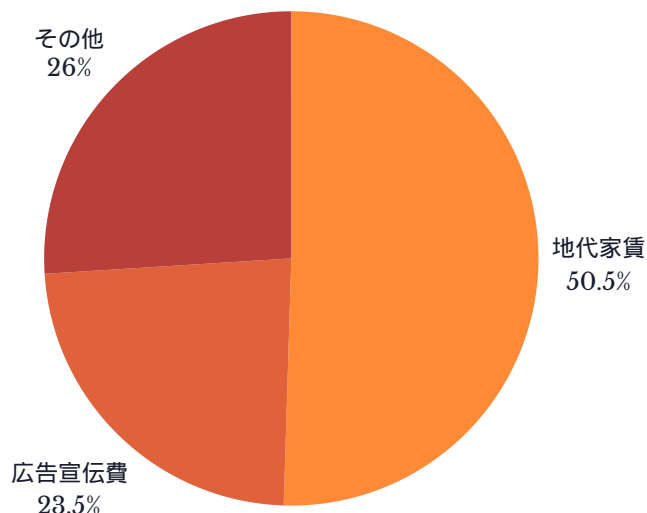
2024年度 財務状況 | 支出の部



支出傾向

地代家賃が50%を占めておりますが、事業拡大と支援の質担保のため、交通利便性と安全性の高い拠点を確保する「基盤投資」として位置づけています。

また、広告宣伝費24%は、認知拡大フェーズにおける戦略的投資であり、支援対象の発掘および関係機関との連携強化を目的とした、将来を見据えた支出と位置付けています。



2024年度 広報・情報発信





WEBサイトの開設

法人の顔を担うHP、アクセス数堅調増

きょうだいが直面する課題や法人概要を掲載

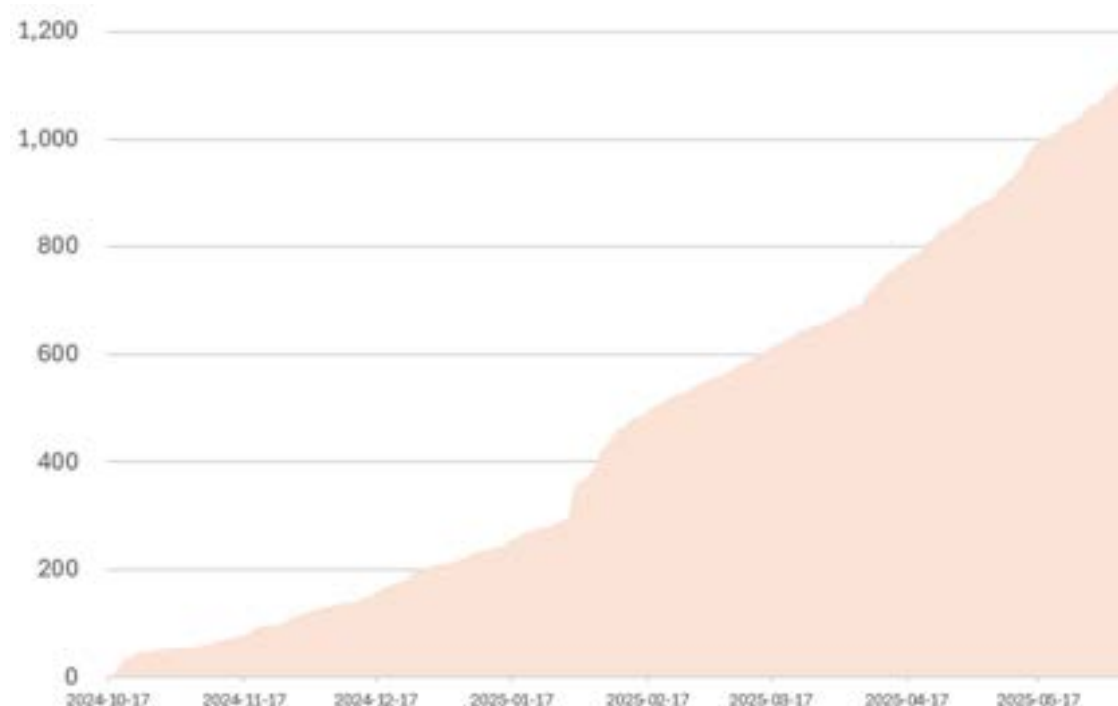
また、問合せ窓口の役割も果たしている

URL：<https://ari-tohoku.jp/>

▼事業内容ページ



▼アクセス数推移：堅調に増加中！

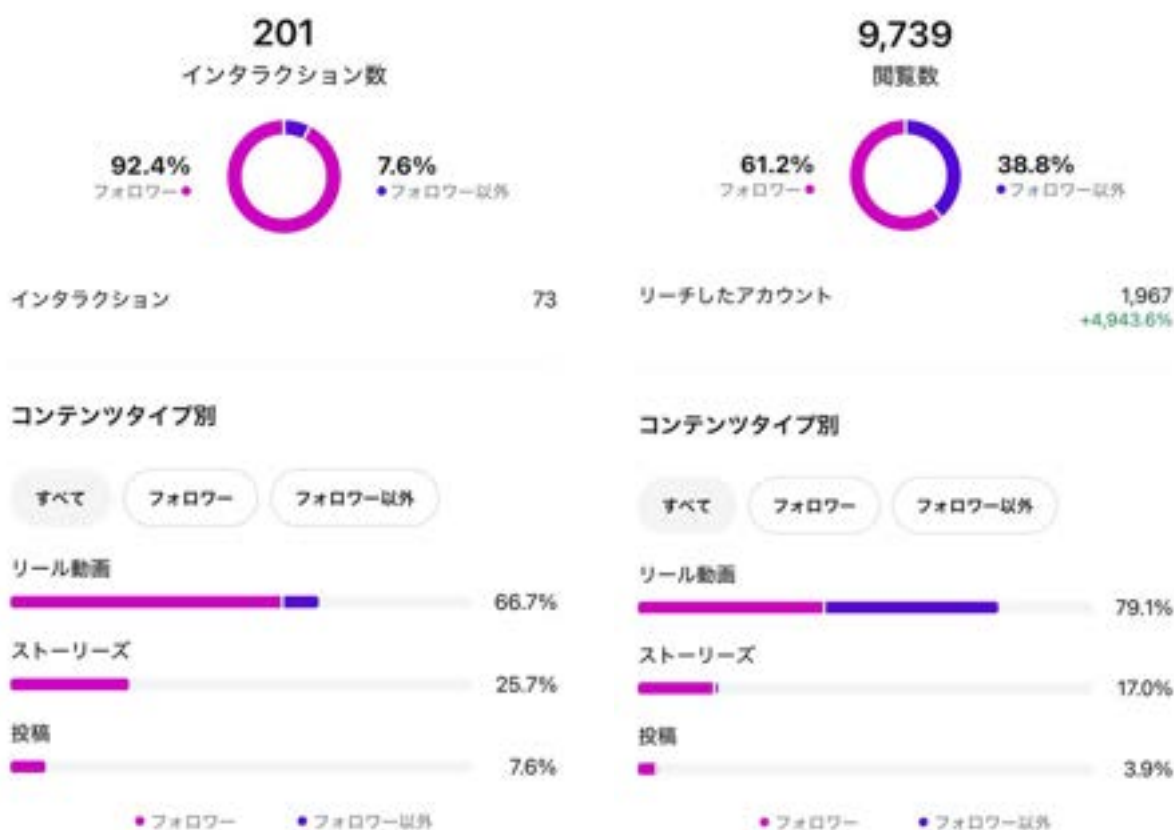




インスタグラム開設

閲覧数・インタラクション数の増加

インスタグラムを通して、「利用しているお子さんの様子」や「スタッフとして活動する学生の雰囲気」についてご理解いただけるように発信しています！^{*1}



*1 集計期間：2025年3月10日~2025年6月7日

メディア出演



2024年度も複数のメディア様に取り上げていただく機会をいただきました。これらの機会を通じて、私たちの取り組みが少しずつ社会へ広がっていくことを実感しています。ご掲載いただいた皆さま、取材にご協力いただいた関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

河北新報様 記事掲載

- 河北新報様にて、弊法人代表をご紹介いただきました
- かかりつけお兄さん・お姉さん事業を中心に、地域で広がる支援の形とその意義を丁寧に取り上げてくださりました



MiTOHOKU Program 最終報告会レポート

- MiTOHOKU Program様にて、弊法人代表をご紹介いただきました
- 地域で挑戦を続ける若者のひとりとして、プレゼンテーションの様子とともに、未来への想いを掲載いただきました



探究百科様 記事掲載

- 探究百科GATEWAY様にて、弊法人代表のインタビュー記事をご掲載いただきました
- サービスに込めた想いや、子どもたちとの関わりに対する取り組み方を掲載していただきました

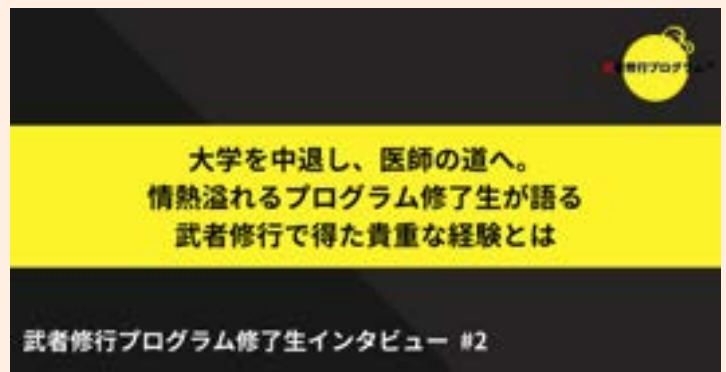
3/29 医大生が気づいた、医療の本質



医大生として医療に携わる中で気づいた、これまで学んだことや医療現場で感じたこと、そして医療の未来について。探究百科GATEWAYでは「医療の本質」をテーマに、医大生たちの声を紹介しています。

武者修行様 記事掲載

- 武者修行プログラムの修了生として、弊法人代表のインタビュー記事をご掲載いただきました
- 代表の人生の転機や、挑戦を通じて得た学びについて温かく紹介していただいています



2024年度 他団体連携について



協働実績



医療・福祉機関

仙台市内の病院、小児科クリニック、訪問診療所、訪問看護ステーション、そして社会福祉法人の皆さまには、きょうだい支援の普及啓発にあたって多大なるご協力をいただきました

9機関



家族会

小児慢性特定疾患や難病、障がいのあるお子さんを支える家族会の皆さまには、きょうだい支援の周知や、きょうだいたちの想いを聴くためのヒアリングにご協力いただきました

6

団体



地域団体

地域で子どもの居場所を育んでおられる団体の皆さまには、きょうだい支援の輪を広げるために多大なるご協力を賜りました

2

団体



協働団体

ホームページの新規制作や、きょうだいたちへのアクティビティの提供など、多方面からご協力をいただきました



2つ

今後の計画・展望



これからの目標



450万円

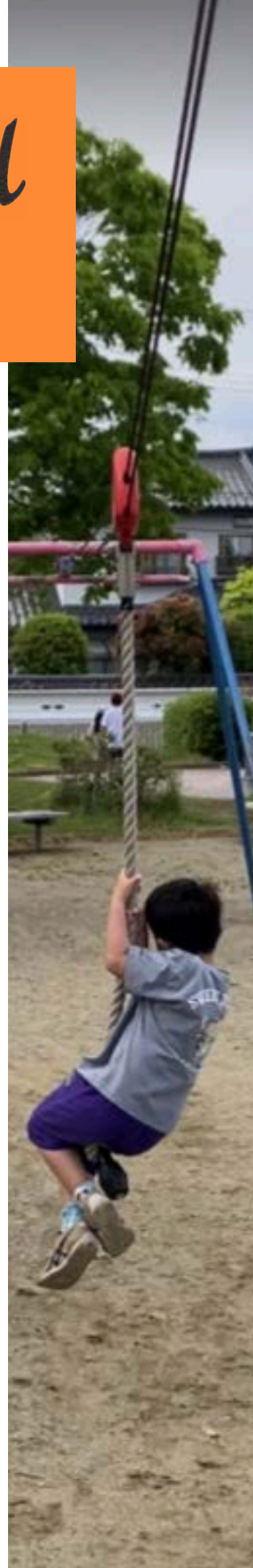
- 一般社団法人 ari は、すべてのきょうだいが安心して過ごせる社会をめざし、支援を完全無償で提供しています *¹
- 「宮城県・仙台市の助成金」と「法人・個人からの寄付」により運営を行っており、「どんな家庭でも金銭的負担なく利用できる仕組み」を維持しています
- 2025年度は受け入れ枠拡大とサービス品質の向上を目指し、かつ2026年度以降のサービスを維持するための体制構築に向けた取り組みを加速します。そのため、年間150万円の運営資金が必要であると算定しております *²

1.0%

- 仙台市内に推定される約1,700名のきょうだいのうち、1%(17名)の支援を目指します。
- 母集団は、一般社団法人 ari の推計です。
- 我々のサービスを必要とするきょうだいが、仙台にはまだまだ存在すると考え、2025年度も活動を更に加速していく所存です。

*¹ 保険料及び事務手数料に該当する1,000円のみ寄付として頂いております

*² 記載の数字は今後3か年の計画です



”出口”を担う 「かかりつけ お兄さん・お姉さん」



- 「かかりつけお兄さん・お姉さん」は、きょうだい1人1人に寄り添い、「安心できる人がそばにいる」という体験を届ける実践的な支援プログラムです
- 一見「遊んでいるだけ」に見える時間の中には、子どもたちの「やりたい」が尊重される経験や、「甘えていいんだ」と思える安心感があります。そして、「信じてくれる大人がたくさんいる」という実感の醸成に寄与しています

「手を差し伸べること」
から初めて、
「知ってもらふこと」
までを
両立してこそ
真の「現場主義」

”入口”を担う 「啓発活動」

- 2025年度以降は、きょうだい支援に関する啓発活動を強化していきます。
- SNSで団体紹介や活動報告を発信し、子どもたちの成長や現場の温かさを共有。医療・福祉・教育機関にはチラシを設置していただくことで、家庭や支援機関との連携を拡大しています。
- 今後は note での連載など深い情報発信にも挑戦し、「きょうだいが安心して育つ社会」を共に考える入口をつくっていきます。



駆け出し、でもプロフェッショナル。 現場主義を貫く。

私たちは、設立から3年を迎えることができました。ただ、組織としてもスタッフ個人としても、まだまだ駆け出しで、経験が浅い部分も多くあるかもしれません。

だからこそ、ひとつひとつの活動を丁寧に積み重ね、学びと改善を繰り返すことに誠実に向き合ってきました。

活動の中で、様々な関係者の皆さまからいただくご意見やフィードバック、そして現場の声の一つひとつが、私たちにとってのかけがえのない財産となっています。

一方で、子どもたちにとっては、我々が駆け出しか熟練かなど全く関係ありません。

どんな経歴であれ、子どもたちに相対するときは、“お兄さん・お姉さん”のプロフェッショナルとして誠実に向き合えるよう、スタッフ一同全力で活動していきます。

今後も「現場主義」に徹底的にこだわり、1つでも多くの笑顔に携われるように精進してまいります。引き続きご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



病気や障がいを抱えた
兄弟姉妹を持つ子どもが、
1人で悩まない世界を作る



お問い合わせ先

法人名 : 一般社団法人ari
郵便番号 : 〒9800803
住所 : 宮城県仙台市青葉区国分町
1丁目4-9 enspace
E-Mail : tohoku.ari@gmail.com
ホームページ : <https://ari-tohoku.jp/>





a r i